

襟裳岬における日最多風向

高橋梨沙¹⁾

キーワード

襟裳岬, 風向, 日高山脈, 風極の地

はじめに

えりも町の南端に位置する襟裳岬は、日本でも特に風が強い地域として知られている。本研究では、2013年1月1日から2022年12月31日までの10年間の気象データを用い、襟裳岬ではどの方向から風が吹きやすいのか、また季節によって風向がどのように変化するのかを調べた。

使用したデータ

気象庁ホームページ (<https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/>) からダウンロードした、観測点「えりも岬」における「日最多風向」の観測値を使用した¹⁾。

日最多風向とは、毎正時（計24回）に観測された風向の観測値を方位ごとに数え、一日のうち最も多く現れた方位のことを指す²⁾。

対象期間は2013年1月1日から2022年12月31日までの10年間（計3,652日）とした。

日最多風向を月ごと、16方位（北、北北東、北東など）ごとに集計した。

結果

10年間（3,652日）の日最多風向の集計結果を表1に示した。

10年間の観測期間のうち、2013年10月12日から14日、2018年7月27日から29日の計6日間は観測値が空欄であったため、欠測として扱った。

設定期間中、観測された風向の中で顕著に多かったのは「西」「北東」であり、対して「北北西」

だったのは2020年11月28日の1日のみ、「静穏」だった日は2021年3月3日の1日のみだった。

風向の集中

「西」「西北西」「西南西」などの西寄りの風向と、「北東」や「北北東」などの北東寄りの風向が特に多く観測された。一方で、「北北西」などのいくつかの方位は10年間を通してほとんど現れず、風向の出現には大きな偏りが見られた(図1)。

襟裳岬では16方位すべてに満遍なく風が現れるのではなく、限られた方向に集中していることが分かった。

春の風向（3月～5月）

「西」および「西北西」が多く観測された。一方で「北東」も次いで多く見られ、西風主体の冬から北東風の夏へと移り変わっていく様子がうかがえた。

夏の風向（6月～8月）

「北東」が最も多く観測され、特に7月と8月では「北東」が他の風向と比べて明確に多かった。また、「西」や「西北西」も次いで多く観測された。

秋の風向（9月～11月）

9月には夏と同様に「北東」が多く観測されたが、10月は「西」、11月は「西北西」と、最も多く観測される風向が変化した。このことから、北東風主体の夏から西風主体の冬へと移り変わっていく様子がうかがえた。

1) えりも町郷土資料館 〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜 207 番地

冬の風向 (12月～2月)

12月と1月は「西北西」の風が最も多く、次いで「西」の風が多く観測された。冬季は西寄りの風が中心となる傾向が見られた。2月も同様の傾向を示すが、「北東」の風がやや増加し、春に向かって風向が変化していく様子が見られた。

季節で変化する風向

季節によって主となる風向が入れ替わる現象は、日本周辺で見られる季節風の影響によるもので^{3,4,5}、日本各地で見られる特徴である。一方で、襟裳岬では「西」「西北西」「北東」に特に集中する傾向が見られた。

北・北北西の風

日最多風向が「北北西」だった日は2022年11月28日の1日のみだった。2番目に少ない「北」は4日間記録された。

襟裳岬でこれらの風向の出現が少ないという特徴について、観測地点の北側に日高山脈が位置していることにより、北寄りの風が届きにくい可能性が考えられた。

「静穏」の日

日最多風向が「静穏」だった日は2021年3月3日の1日のみだった。

気象庁の定義では、日最多風向は、毎正時(1日24回)の観測において、その日に最も多く現れた風向を示す²。ただし、「静穏」が最多のときは次に多い風向が採用されるため、日最多風向が「静穏」となるのは、1日の観測のすべてが「静穏」だった場合となる²。このことから、この日は1日を通して風が非常に弱い状態が続いたことが考えられた。

襟裳岬は日本でも有数の強風地域として知られているが、10年間で「静穏」が1日のみだった

という結果は、当地で風が止むことが年間を通して非常に少ないこと示す一つの例といえる。

まとめ

6月から9月には「北東」、10月から5月には「西」「西北西」が突出した。日本周辺で見られる季節風の影響により、最多風向は季節によって逆転しているが^{3,4,5}、夏季に最も多い「北東」は冬季にも一定数観測され、逆に冬季に最も多い「西」「西北西」も一定数観測された。一方、「北」「北北西」など、ほとんど観測されない風向があった。

このような特徴は、えりも町が太平洋に突き出た地形であり、襟裳岬がその先端付近に位置することから海からの風の影響を受けやすいこと、さらに北側に日高山脈があることで、風が通りやすい方向が限られることなど、地形の影響が考えられた。

襟裳岬は日本でも有数の強風地域として「風極の地」と呼ばれている。本研究では風速は扱っていないが、10年間3,652日のうち、日最多風向が「静穏」だった日が1日のみだったことからわかるとおり、襟裳岬では年間を通してほぼ毎日風が吹いていた。この結果は、襟裳岬が「風極の地」と呼ばれる背景を、風向の特徴という観点から示す一つの例といえる。

参考資料

1. 気象庁, 2025. 気象庁“過去の気象データダウンロード”, <https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/>.
2. 気象庁, 2025. 気象観測統計指針 令和7年12月12日改訂版. 144pp.
3. 古川武彦・大木勇人, 2023. 図解・気象学入

- 門 改訂版原理からわかる雲・雨・気温・風・
 天気図. 272pp. 講談社, 東京.
4. 一般財団法人日本気象協会, 2024. 天気の不
 思議がわかる!. 143pp. 実用之日本社, 東
 京.
5. 今井明子, 2025. 空・雲・雨・風のしくみが
 わかる 今さら聞けない 気象の超基本.
 223pp. 朝日新聞出版, 東京.

表1. 襟裳岬における日最多風向（月別日数）（期間：2013年1月1日～2022年12月12日）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全期間
北	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	4
北北東	31	10	9	8	11	15	10	17	10	17	11	20	169
北東	55	60	68	63	75	123	136	137	133	73	46	31	1,000
東北東	1	1	3	8	10	17	18	20	9	7	5	0	99
東	0	0	1	1	4	2	3	2	3	3	1	1	21
東南東	0	1	0	2	3	3	3	7	8	2	5	0	34
南東	0	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	6
南南東	0	1	2	1	3	2	2	3	8	10	3	1	36
南	1	2	2	4	5	3	3	4	7	1	2	1	35
南南西	2	0	1	3	2	2	4	5	3	2	3	1	28
南西	1	1	2	3	7	4	4	6	3	0	2	0	33
西南西	5	21	35	45	38	25	19	31	26	22	25	9	301
西	83	113	161	144	138	89	87	74	75	103	90	69	1,226
西北西	125	71	25	16	13	14	15	3	14	66	103	169	634
北西	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	8	18
北北西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
静穏	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
欠測	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	6
計	310	282	310	300	310	300	310	310	300	310	300	310	3,652

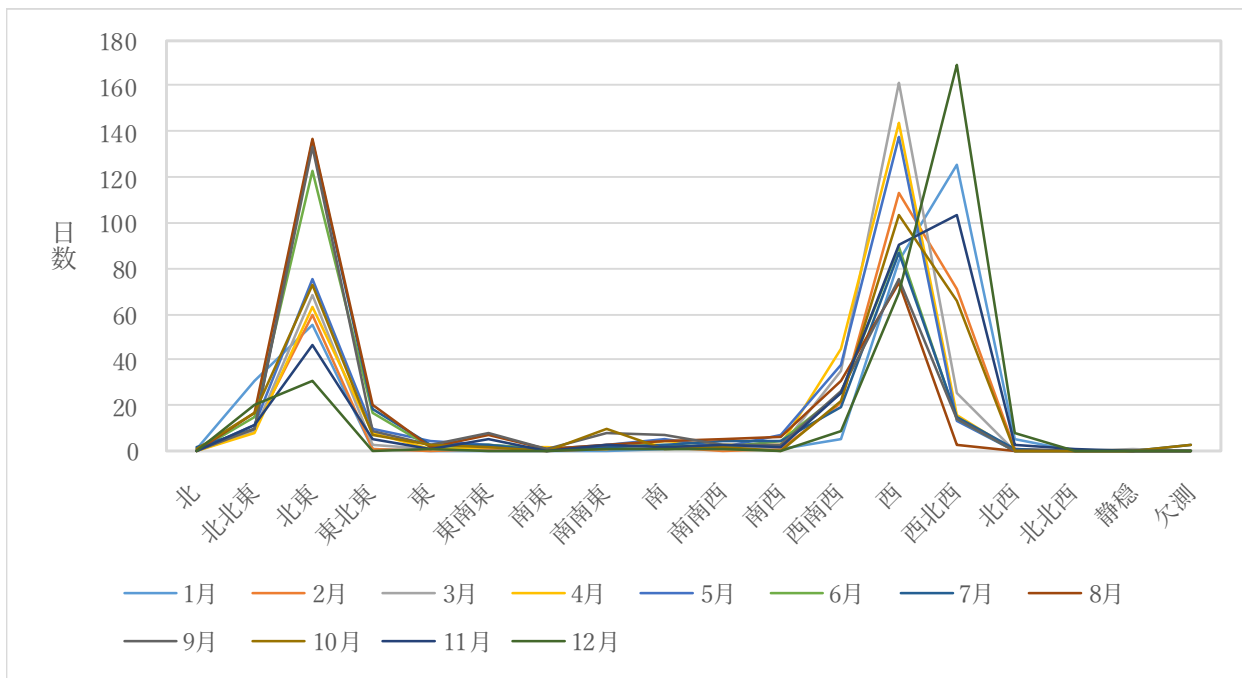


図1. 襟裳岬における日最多風向（風向別）（期間：2013年1月1日～2022年12月12日）